

高齢者Stage III大腸癌に対する術後補助化学療法の現状調査

本学で実施しております以下の研究についてお知らせいたします。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	高齢者Stage III大腸癌に対する術後補助化学療法の現状調査
倫理審査 受付番号	第3432号
研究期間	2020年 2月倫理審査承認日～2024年12月31日
研究対象情報 の取得期間	下記の期間に下部消化管外科を受診され、根治的手術を受けられた、75歳以上のStage III大腸癌の患者さん 2012年 1月 1日～2016年12月31日
研究に用いる試料等	カルテ情報 (カルテから過去の臨床情報を収集します) <臨床情報> (1) 患者さんの基本情報 (年齢、性別、診断名、手術日) (2) 併存症の情報

- (3) 手術内容
- (4) 補助化学療法前の検査結果
- (5) 補助化学療法施行の有無とその内容
- (6) 副作用（有害事象）
- (7) 予後情報（再発・生存・死亡）

研究概要

（研究目的）

根治切除を行ったStage III大腸癌の患者さんには、再発の抑制と生存期間の延長を目的に、術後補助化学療法を行うことが推奨されています。しかし、高齢患者さんに対する術後補助化学療法の有効性や安全性に関する情報は不足しています。本研究では、高齢者Stage III大腸癌の患者さんに、どのくらいの頻度で補助化学療法が行われ、どれほどの治療効果が得られているかを調べます。本研究によって、今後、高齢者に対する術後補助療法をどのように行ったら良いかを検討します。

（研究方法）

過去に行われた治療や治療成績に関するデータを解析する研究です。対象となる患者さんに、あらたに検査や治療を行うものではありません。

<研究組織>

本研究は大腸癌研究会 化学療法委員会が行う研究として、多施設共同で実施されます。

< 研究代表者>

高知医療センター 腫瘍内科 島田 安博

<研究事務局>

東京医科歯科大学 消化器化学療法外科 石川 敏昭

<データ提供施設>

東京医科歯科大学大学院 総合病院外科分野

<参加施設>

大腸癌研究会 会員施設のうち協力可能な施設

（別紙）参加施設一覧

(研究結果)

研究結果は学会や論文、ホームページ等で発表されます。この際、患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

(個人情報の取り扱い)

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。研究参加施設からのデータは、本研究の関係者以外がアクセスできない状態で、研究事務局に提供されます。その後、研究事務局より解析担当者に解析用のデータが送られます。また研究者番号と、それぞれの患者さんとの対応表は各研究参加施設の研究協力者が保管・管理します。

連絡先

兵庫医科大学病院 下部消化管外科
富田 尚裕 (研究責任者、研究担当者)

〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1-1
TEL | (平日) 8:30~16:45 0798-45-6372 (医局直通)